

大宜味



水面に浮かぶ灯火 心動かすフラガール

日時:7月6日
撮影場所:大宜味村白浜とのきや
ミニキャンプ場

シークワソー新商品 今秋発売



大宜味村とキリンビールマーケティング沖縄支社は7月10日に、シークワソーを使ったオリジナルレシピ入賞作品の発表会見を沖縄県庁で行いました。

本村と同沖縄支社が6月1日から7月1日まで、沖縄食材レシピ投稿サイト「おきレシ」でデリ、ベーカリー、スイーツの3部門で募集したレシピの中からグランプリ3作品を商品化します。審査については応募されたレシピのアイディア(オリジナル性・創意工夫)、テーマ性(食材の特性を活かしている)、盛り付け(美しさ・適量性・バランスが良い)等といった項目で行われました。応募総数95品の中から、

デリ部門「グリルチキン&野菜のグリーンソース」、ベーカリー部門「チーズ風味シークワソーホットケーキ」、スイーツ部門「シークワソー水まんじゅう」がグランプリとして選ばれました。3部門から選抜された商品の原料はすべて大宜味産シークワソーを使用し、県内のローソン156店舗で10月頃から約1ヶ月、期間限定で販売の予定です。

今回の企画は大宜味村とキリンビールマーケティング沖縄支社が4月に締結した「大宜味村産シークワソーブランド化連携協定」の一環で行われました。記者会見で島袋村長は「今後さらにキリンビールと協力し、シークワソーのブランド化を推進して消費の拡大と大宜味村の活性化につなげたい」と話しました。



左からおおぎみシーちゃん、(株)キリンビールマーケティング沖縄支社松浦支社長、(株)ローソン沖縄古謝代表取締役社長、ミキトニー・ラウ、島袋村長、沖縄県農林水産部流通政策課宜野座課長

青少年に規則正しい生活習慣を!!

村農村環境改善センターで「平成25年度青少年の深夜はいかい防止及び未成年者飲酒防止大宜味村民大会」が7月19日に開催され、約60人が出席しました。

沖縄県の青少年の夜遊びや深夜はいかい、未成年による飲酒の現状は他県にあまり見られないもので、問題行動や事故の大半が深夜に発生しています。それには、本県のいわゆる「夜型社会」の風潮が大きな影響を及ぼしている事を全県民が深く認識しなければならず、全県民が生活リズムの確立を図るなかで、「青少年の深夜はいかい防止及び未成年者飲酒防止」の決意をはかる県民運動の一環として大宜味村民大会が行われています。

主催者あいさつで島袋村長は「これからの大宜味村を担う青少年が心身共に健やかに成長していくことは、我々、大宜味村民すべての思いであり、願いであります。この大会を提起に今一度、村民一人ひとりが青少年の深夜はいかいや未成年者飲酒の問題を真剣に考え、家庭や地域を始め全ての関係機関と連携を密にしながら、引き続き、豊かで住み良い村づくりに取り組んでいきましょう。我々は、そういう思いを実践に移すだけだと思っております」と話しました。

最後に婦人会会長の宮城久子さんと青年会会長の津波古達功さんにより「シンデレラタイムを励行し、青少年に明るい未来を約束しよう。6・30で生活リズムを確立し、夜型社会を是正しよう。家族団らんタイムで明るく楽しい家庭づくりに努めよう。愛の一声運動で、青少年の深夜はいかいをなくそう」と力強い大会宣言が行われました。



島袋村長によるあいさつ



婦人会宮城会長と青年会津波古会長による大会宣言

岸朝子・平良友子氏 来訪

6月17日、「世界の牡蠣王」と呼ばれる宮城新昌さんの次女で食生活ジャーナリストの岸朝子さんと三女の平良友子さんが役場を訪れました。根路銘区出身の宮城新昌さんは近代的な牡蠣養殖技術である「垂下式カキ養殖方法」を考案し、宮城県で実用化に成功しました。その功績を讃え、1997年に宮城県石巻市に顕彰碑が建立されましたが、去った東日本大震災により倒壊したため、同市と大宜味村でそれぞれ「再建委員会」を発足しました。

今回、村民始め、郷友会や企業の方々の協力があり再建への目処が立ち、金城勇協同議長と宮城健康根路銘区長が石巻市に皆さんから集めた寄付金を届け、10月には島袋村長も参加し、除幕式を行う予定です。島袋村長「新昌さんの村への想いや御活躍は、村民の一つの財産です。そこに繋げよう、続けよう」と人材育成にも力を与えてくれたとも思っています」と話しました。岸朝子さんは村長室で話を聞いた後、役場内の放送マイクを使い「宮城県石巻市の折れてしまった顕彰碑が、再建できることに感謝しています」と感謝の意を伝えました。



宮城新昌氏の顕彰碑再建に対する寄付金の報告とお礼

宮城新昌氏の顕彰碑(宮城県石巻市)再建の寄付金については、村民を始め、多数の皆様のご厚意により目標額を大きく上回る額が寄せられました。寄付金の状況を報告するとともに、厚くお礼を申し上げます。早速、7月10日には宮城県石巻市に贈呈致しました。尚、除幕式は10月13日に執り行う予定です。

寄付金(A)	事務経費(B)				贈呈額C(A-B)
	切手・コピー燃料・高速シークワサー等	寄付金贈呈旅費(2人分)	除幕式配布記念泡盛	計	
6,915,847	590,447	188,000	187,400	965,847	5,950,000

宮城新昌顕彰碑建立再建大宜味村委員会

顕彰碑建立再建寄付一覽

【企業・団体】

- 糸数けいご後援会
- 北部農林高校同窓会
- 北部農林高校後援会
- 金城電気工事株式会社
- 大宜味中21期会
- はづきの会
- 大保区
- 大宜味村蕎麦生産組合
- ㈱安謝橋電気
- 浦塩会
- 塩屋区
- 大宜味村役場職員一同
- ㈱国吉設計
- 大宜味郷友会
- (有)大望エンジニアリング
- ㈱琉球セメント
- 仲井間林業(有)
- 宮城区
- ふるさと薬局
- 江州の花
- 大宜味村歯科診療所
- 美ゆうびゅう
- 沖繩軟の会
- 根路銘区
- 芭蕉布工房
- 塩屋電気
- (有)大宮工機
- 我如古そば
- (有)タカナミ商事
- ㈱丸福
- ㈱タイラトレンディーカンパニー
- 饒波区
- 喜如嘉区
- 笑味の店
- 喜納昌吉チャリティー募金
- 田港区
- 区長会
- サトシ電器
- 産業祭(カキフェア)
- 羽地漁協 大宜味地区
- 白浜区
- ㈱沖縄工設
- ㈱琉球産業
- 大宜味村商工会
- 大宜味村商工会青年部
- 大宜味村商工会職員
- 沖縄金融協会
- 塩屋中12期生
- NPO法人おおぎみまるごと
- ツーリズム協会
- ㈱東部自動車
- ㈱海邦計画
- 大宜味村建設業者会
- 津波区
- 茶山自治会
- 第一機行
- タンナ郷友会
- ㈱沖縄設計センター
- 沖縄基礎㈱
- (有)平良設備工業
- (株)田幸技建コンサルタント
- (有)傘愛
- ㈱匠エンジニアリング
- (有)末吉電水工業
- 上城技術情報㈱
- 日本衛生株式会社
- ㈱沖縄エンジニアリング
- (有)ヤナギ電設工業
- 琉興総業㈱
- ㈱国建
- ㈱根路銘設計
- 南部舗道㈱
- ㈱レキオコンサルタント
- ㈱浦城産業
- 琉球肥料㈱
- ㈱東開発
- (有)共進電機
- ㈱翔南工業
- 琉球物流㈱
- ㈱大東エンジニアリング

【個人】

- 島幸功
- 平良英夫・友子
- 岸朝子
- 松島正枝
- 塩浜康輝
- 久高将光
- 平良さとこ
- 前泊美紀
- 山城誠司
- 玉城彰
- 前田千尋
- 山城康信
- 稲福吉昭
- 上地安之
- 手登根恵貴
- 宮里昭也
- 仲間保夫
- 山城仁
- 宮城健隆
- 宮城信昭
- 宮城保勝
- 大城俊
- 宮城恵美子
- 幸野亮
- 越智一郎
- 宮城嘉勝
- 大城広和
- 大城政子
- 平良幸一
- 山城幸子
- 宮城マキ子
- 大城幸
- 大城邦彦
- 大城敏子
- 平良栄吉
- 大城昌則
- 大城信弘
- 平良実
- 平良とみ
- 平良雅巳
- 平良盛晴
- 平良治男
- 安田久子
- 宮城幸子
- 高江洲修
- 高江洲大輔
- 宮城照子
- 照屋正和
- 大城栄吉
- 浜元朝子
- 浜元力
- 大城吉範
- 山城美也
- 大城一宏
- 大城俊正
- 高江洲裕
- 仲里朝樹
- 大城治雄
- 松本當三
- 平良京子
- 島袋一男
- キンジョウ イサオ
- オオシロ タツヒロ
- ミヤギ ナオシ
- マツモト ジュン
- 安元健・とみ子
- キンジョウ ミツユキ
- グシカワ アサオ
- 沖縄電力 ヨギ
- サクガワ ヨウイチ
- 沖縄電力 オオヤマ
- キンジョウ テツナリ
- ネロメ イチロウ
- テルヤ ツネノブ
- ウエマ カズオ
- シマブクロ シゲノブ
- ウラモト カツヒコ
- チネン トモコ
- テルヤ カツヨシ
- アガリエ ヒサコ
- ミヤギ ヨシマサ
- ミヤザト ヤスオ
- オオシロ カズオ
- マエダ カツユキ
- モリタ アキラROK
- タイラ ツギコ
- イシカワ ヒデオ
- ヨナミネ タツオ
- カサイ ナオト
- 沖縄電力 ミヤギ ヒデキ
- タカラ クラヨシ
- トグチ タケマサ
- 安慶名克己
- ヨシダ キヨシ
- トグチ カツコ
- タイラ アキオ
- カミダ ヒトシ
- オオミネ ヒデノリ
- キンジョウ ヒトシ
- ミヤギ タダシ
- ハママト ツギオ
- ミヤギ セイサブロウ
- ヨシダ トモコ
- キンジョウ ノリオ
- ミヤギ ススム
- ヨナミネ カズオ
- キンジョウ マサミ
- キンジョウ イクコ
- ヤマシロ アツオ
- モロミサト ミツコ
- イシカワシオ・カツミ・シゲ
- ヤマカワ ムネカツ
- ミヤギ ヤストシ
- ミヤギ カンジ

ふるさと納税と 村体協へ寄付

7月19日に金城電気工事株式会社の代表取締役の吉濱社長と専務取締役の金城さん、営業部の吉濱部長が村長室を訪れ、ふるさと納税と大宜味村体育協会へ寄付をしました。

吉濱社長(喜如嘉出身)は「同社は昭和28年に創業して、今年で60年目になります。本社は那覇にあるが、これまでこれたのはふるさとの皆さんのおかげだと思っています。60周年という記念で、ふるさとの大宜味に恩返しをしたい、そして、7月に行われた国頭郡軟式野球大会で大宜味村が優勝したこともあり、応援したい気持ちがあったので、わずかですが寄付をしました」と話していました。



ご寄付いただき
ありがとうございました



● ベチバーで赤土流出STOP!! ●

大保江洲原改良区で7月16日に辺土名高校環境科の生徒達を対象に、ベチバー植栽体験イベントが行われました。
日頃から地域の自然環境に目を向けている生徒達に、沖縄の自然環境保全に配慮した農業活性化支援事業の取組に関心を持ってもらい、地域の環境保全

に対する取組を知ってもらいたいと企画された今回のイベントには30名が参加しました。
ベチバーの植え方を、コーディネーターと農家さんから習いながら作業を行った生徒は「土が軟らかくて植えやすかったけど、畑がゆがんでいたからやりにくかった。作業は大変だったけど楽しかった」と話しました。

辺土名高校教育懇談会・部活動激励会

7月9日に村農村改善センターで平成25年度辺土名高校教育懇談会部活動激励会が行われました。始めに安座間校長から「8年前までは字ごとの地域懇談会という小さな規模で行っていましたが、部の激励会も一緒にやっていくスタイルになって7年目になります。今回は卒業生の2人に進路について話してもらう時間をとっているので、彼らには十分に話をして頂きたいと思います」と挨拶をしました。

卒業生代表として話す沖縄キリスト教短期大学保育科の宮城珠希さんと(株)北部観光バスでバスガイドをしている佐藤奈奈さんは辺土名高校を卒業して2年目になります。

宮城さんは「子どもが好きなので保育士になるために勉強しています。現在は学校のサークル活動では『Actor東北』という東日本大震災の復興支援ボランティアや中南部を中心にゴミ拾いの活動を行っています。今年の6月には塩屋保育所で実習を経験しましたが、保育士になつたらすぐに、大宜味に戻って地域の為に頑張りたいです」と話していました。

佐藤さんは「観光業に興味があり、人と接する仕事がしたいと思っていてバスガイドを選びました。入社してすぐの研修では、原稿の暗記や歌発声練習などがあり、夜遅くまで必死に勉強しました。研修のテストに合格し、バスガイドになっ

て初めての仕事では、緊張して頭が真っ白になって案内や歌詞を間違えてしまい、失敗が多かったです。お客様の中には話を聴いてくれない方もいましたが「楽しかったよ。また、沖縄に来るよ」と言ってくれる方がいて嬉しかったです。これからもたくさん勉強して、多くのお客様に沖縄の魅力を伝えていきたいです」と話し、最後には琉球民謡「ユイユイ」の歌と振り付けて会場を華やかな雰囲気でも包みましました。

部活動激励会では全国大会派遣の放送部、サイエンス部の活動報告と九州大会での陸上部、ボート部の参加報告があり、その後は大宜味支部と国頭支部の余興があり、会場を盛り上げていました。



琉球民謡「ユイユイ」で盛り上がる会場



ゲートボール大会 優勝旗はどのチームへ?

7月11日に大宜味小学校グラウンドで第32回村内老人優勝旗争奪J Aおきなわ大宜味支店年金友の会ゲートボール大会と平成25年度ゴーヤー審査表彰が行われました。開会式で村老人クラブ連合会 新里会長は「ゲートボールで体力を付けて、笑顔を増やして、地域の為になればと思っています。日頃の頑張りを見せていきましょう」と挨拶がありました。

島袋村長からは「皆さん方は村や地域行事に積極的に参加していて、地域の影響力が大きく、期待も大きいです。皆さんのパワーが若い人、村民全体に伝わっていくようになって欲しい。今日は楽しんでやって頂きたいです」と激励しました。

ゲートボール大会では6区から9チームが参加し、1位・大宜味、2位・塩屋B、3位・塩屋A。がんばりゅうで賞(90歳以上又は最高齢選手)は平良澄子さん(大兼久)、平良正子さん(大兼久)でした。1位及び2位のチームは、北部地区老人ゲートボール大会(8月16日)へ派遣があり、J A年金友の会景ゲートボール大会(11月29日)は1位のみが派遣になります。

同日行われた、平成25年度ゴーヤー審査表彰の島ゴーヤーの部では1位・辺土名朝清さん(宮城)、2位・宮城長清さん(大宜味)、3位・前田朝達さん(饒波)。アバサーゴーヤーの部では1位・玉城敏男さん(大宜味)、2位・辺土名富さん(宮城)、3位・平良光秀さん(大兼久)となりました。



村ゴルフ大会



第12回大宜味村体育協会各字対抗ゴルフ大会が6月24日、本部町のベルビーチゴルフクラブで開催され、36人が参加し、熱戦を繰り広げました。上位16名は国頭郡ゴルフ大会(8月31日美らオーチャードGC)へ派遣、55歳以上のシニア4名を含む上位12名は北部市町村対抗ゴルフ大会へ派遣されます。

団体の部

優勝:塩屋 準優勝:喜如嘉 3位:大保

個人の部

優勝:宮城俊二 準優勝:山城盛男 3位:屋我浩美

村ボウリング大会

平成25年度大宜味村ボウリング競技大会が7月7日、名護市のキタボウリングセンターで開催され、7区から混成チームを含めて14チームが参加し、涼しくも熱い戦いが行われました。そして、個人上位8人は国頭郡派遣選手となります。

団体の部

優勝:田嘉里A 準優勝:津波A 3位:大宜味A

個人の部

優勝:成田直晴 準優勝:平良英勝 3位:志良堂匠

村球技大会



男子バレーボール優勝
謝名城チーム



女子バレーボール優勝
大宜味チーム



バスケットボール優勝
大宜味チーム

大宜味村球技大会が、7月14日に開催され、周りからの応援や選手同士の声掛けで試合毎に盛り上がり、熱戦を繰り広げていました。バレーボールとソフトテニスは大宜味中学校で、バスケットボールは大宜味小学校で開催されました。

結果発表

男子バレーボール(4チーム参加) 女子バレーボール(6チーム参加)
優勝:謝名城 準優勝:塩屋 優勝:大宜味 準優勝:白浜
ソフトテニス(4チーム参加) バスケットボール
優勝:連合チーム 準優勝:謝名城 優勝:大宜味 準優勝:大兼久
※オブザーバーとして中学生も参加しました。



振り込め詐欺に注意

振り込め詐欺の中でも最も多くをしめているオレオレ詐欺。

最近では、従来のように金融機関を通じて「振り込ませる」ものに加え、犯人が現金やキャッシュカードを直接自宅等に取りに来る「振り込ませない詐欺(受取型詐欺)」が増加しています。息子などを装って電話をかけ「電話番号が変わった」「会社の携帯電話だから番号を登録して」「犯人グループの電話に誘導し、この時「風邪を引いていて喉の調子が悪い」などと息子の声と異なることを不自然に思われないようにします。後日、再び犯人から電話があり、「会社のお金の入ったカバンをなくした」「友人の借金の保証人になった」「女性を妊娠させた」など、トラブルが発生したことを口実に、「自宅まで取りに行くからお金を用意して」などと言って、至急お金が必要であることを持ちかけ、「自分は急用ができたので同僚に行かせるから」などと言って、「受け子」が現金を自宅に等に取りに来て、だまし取られるのです。

●「私は大丈夫」と思っている人ほどだまされやすい!

オレオレ詐欺は、子や孫に対する親愛の情を利用した犯罪であり、誰でもだまされる可能性がある。

●電話の声だけで犯人と見破るのは困難

犯人は、あらかじめ、「風邪をひいて声がおかしい」などと、普段と声が違う理由を伝えてきます。だまされずに見破った人でも、多くが「電話の声は、息子と似ていた」との感想をいんでいます。

不振電話があった場合は、自分一人です決めるのではなく、誰かに相談することが大切です。

羽地・今帰仁海域たまんの資源管理にご協力下さい

資源管理に至った経緯

今帰仁・羽地海域はハマフエフキの好漁場でしたが、資源の減少が顕著となったため、資源の回復に向け平成12年から水産資源保護を目的とした保護区を設定し、今年で14年目の取り組みとなります。

資源管理の取り組み

運天漁港沖と屋我地島沖においてハマフエフキの保護区を設定しており、8月1日～11月30日の4ヶ月間は禁漁期間となっています。この期間は、漁業者による保護区域内での全魚種全漁法の採捕が一切禁止となっていますので、村民の方のご理解ご協力をお願いします。

平成25年度 青年就農給付金 説明会のお知らせ。

前年度から始まった青年就農給付金について説明会を行います。この事業では就農5年未満かつ45歳以下で大宜味村の人・農地プランに中心的経営体として位置づけられる見込みのある農業経営者を給付対象の要件としています。関心のある方はぜひお越しください。

8月14日(水)午後2時00分から 役場第2会議室
8月15日(木)午後2時00分から 塩屋公民館

【募金先・問い合わせ先】
産業振興課 (☎0980-44-3232)

青い羽根募金

毎年、海の日を中心として、7月1日から8月31日までは「青い羽根募金」の強調期間となっています。この募金は船舶の遭難や海洋レジャー事故の際の人命救助、及びその訓練、機材の購入等に活用されます。市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【募金先・問い合わせ先】
公益社団法人琉球水難救済会 (☎098-868-5940)

第25回記念ツール・ド・おきなわ 2013 参加者募集のお知らせ

開催日 2013 11/9(土)・10(日)

エントリー期間 2013 8/1(木)・9/30(月)

参加方法などの詳細・昨年度の大会結果はWEBページから
www/tour-de-okinawa.jp

【問い合わせ先】
☎0980-43-7455(平日9:00~17:00)

平成25年度沖縄県広域地震・津波 避難訓練の実施について

沖縄県全域で下記の日時で避難訓練を行います。

日時:平成25年9月4日(水)
午前10:00~11:00頃

~参加されない団体さまへ~

※9:45分頃に沖縄県から携帯電話にエリアメール(緊急速報メール)が送られます。また大宜味村からは、防災無線で避難の周知等を村全体へ放送します。あくまで訓練放送ですので、ご注意ください。

いぎみクイズ

大宜味村内には「長寿宣言の村」や「ぶながやの里宣言」「シークワサーの里」の石碑がありますが、あとひとつ「○○○○宣言の村」という石碑があります。さて、何という言葉が入るでしょう。



- ①安心安全 ②交通安全 ③家内安全

*答えは今月号のシーちゃんが知っているよ。どこにいるか、探してみよう!!

がんばって
みつけてね!



村の人口

6月末現在

男	1,718人	(-1)
女	1,614人	(-3)
計	3,332人	(-4)

世帯数 1,666世帯(0)

出生	5人	転入	11人
死亡	5人	転出	15人

※注()内数は対前月比

8月生まれの子供

世界にたったひとつだけのスマイル!



うみ
渡嘉敷 海くん(謝名城)



はると
金城陽人くん(塩屋)

輝く未来の大宜味っ子! 明るく・元気で・素直にすくすく育てね

8月

8 August September
8月1日~9月10日

大宜味村カレンダー



1 木	◆区長会 ◆プール開放 ◆塩屋(エイサー部落周り)
2 金	◆プール開放
3 土	◆ESLキャンプ(8/11まで)
4 日	◆一万人のエイサー踊り隊(村青年会参加)
5 月	◆水泳教室
6 火	◆水泳教室 ◆プール開放
7 水	◆水泳教室
8 木	◆水泳教室 ◆プール開放 ◆米寿・カジマヤー祝い者訪問
9 金	◆水泳教室
10 土	◆村夏まつり~11日
11 日	◆郡バレーボール大会
12 月	
13 火	
14 水	◆第3回わんぱく体験団~15日 ◆村教職員夏季体験講座~16日
15 木	終戦記念日
16 金	
17 土	
18 日	◆国頭郡球格技大会 ◆特定検診(もれ者)
19 月	旧盆(ウンケー)
20 火	旧盆(中日)
21 水	旧盆(ウークイ)

22 木	
23 金	
24 土	◆郡バスケットボール大会~25日
25 日	◆塩屋のウンガミ(海神祭) ◆国頭郡球格技大会
26 月	
27 火	
28 水	◆始業式(幼・小・中)
29 木	
30 金	
31 土	◆国頭郡ゴルフ大会
9月 September	
1 日	
2 月	◆区長会
3 火	
4 水	◆県広域地震・津波避難訓練
5 木	
6 金	
7 土	
8 日	◆中学校:久志駅伝大会
9 月	◆振替休日(大中)
10 火	◆授業参観(大小)

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。

インナトゥで遊ぶ子ども達

平成5(1993)年の喜如嘉バイパス開通により部落内を通っていた国道が海沿いに走りインナトゥには喜如嘉橋が架けられました。

喜如嘉入口付近は「川口」と呼ばれますが、喜如嘉川は元々その辺りを流れ川口は深い澱みになっていました。度々起きる水禍を防ぎ、耕地を拡張するために、大正9(1920)年、浴川橋から下流で、川の移転工事が当時の平良真加良区長の大英断により区民一丸となって行われ、現在の流れに導かれました。1世紀近くも前、人類の叡智と強靱な精神をもって成し遂げられた壮大なプロジェクトを、のどかに釣りをしている子供達は知っていたのでしょうか。このフロンティア精神は後の村政革新運動や火葬場建設にも色濃く引き継がれました。



むかしやあんしえったん

村内あれこれ



4年ぶり4回目の優勝!

7月6日~7日の2日間、金武ベースボールスタジアムと宜野座村野球場で第50回国頭郡軟式野球大会が行われ、大宜味村が4年ぶり4回目の優勝を飾りました。宜野座村野球場で行われた初戦では、宮城敏也さん(塩屋)が相手チームの金武町をノーヒットノーランで抑え1対0で勝利しました。準決勝・決勝は金武ベースボールスタジアムで行われ、準決勝(宜野座村)との試合では真喜志康平さん(大保)が逆転2塁打を打ち3対1で勝利しました。決勝戦では知念翼さん(田嘉里)の決勝タイムリーで本部町に2対0で勝利し優勝を決めました。なお、優勝した大宜味村は11月に行われる県民体育大会に国頭郡代表として派遣されます。

西洋ろうそくが地上を包む



7月6日、白浜区の集落や塩屋湾をキャンドルの光と音楽、ダンスで幻想的な世界を演出する第3回白浜ナイトキャンドル(主催:海の森の会)が大宜味村白浜のきやミニキャンプ場で開催されました。キャンドルの再利用を通して自然保護のことを考えてみようと思った今回のイベントには屋古フラガールや生活研究会のダンス、パステルバンドや城間竜太さんなどの音楽が披露され、会場を盛り上げていました。最後の挨拶で白浜区の親川区長さんは「小さな部落ですが、1年越しに何かイベントが出来ないか考えていて、今後も海の森の会の皆さんと協力して地域を盛り上げていきたい。若い人達が来てくれるようなイベントをつくりたい」と話していました。

大兼久に咲くトックリラン



7月2日、大兼久の金城さん宅(笑味の店)にトックリランの花が咲きました。笑味の店をオープンした時期に植えたトックリランの苗は、今では2階から触れるほど大きくなっています。金城さんは、お店を訪れたお客さんから「こんなに大きなトックリランは初めて見た。たくさん花が咲くのは珍しい」と言われて、このトックリランの大きさが珍しい事を知りました。以前は30本ぐらいいしか咲かなかった花も今では40本以上花が咲いていて、まだまだ成長しています。金城さんは花が好きで他にもサクラランやノウゼンカズラ、月下美人も育てていて「たくさん花が咲く、綺麗な場所にした」と笑顔の花を咲かせながら話してくれました。

芭蕉布の歴史伝える



6月29日、村農村改善センターで日本民藝夏期学校やんばる会場(主催:日本民藝協会、沖縄民藝協会)が開催されました。県内外から約120名の参加者が喜如嘉を訪れ、大宜味村の芭蕉布を学びました。喜如嘉芭蕉布事業共同組合の平良美恵子理事長が芭蕉布の歴史や製造工程を解説し、「かつて芭蕉布が盛んに交易品としてもいられ、江戸時代には袴などに使われていた。インシシの被害や地域の少子高齢化にもなう後継者問題など課題はあるが、芭蕉布の伝統を受け継いでいきたい」と話した。

